

自らの強みを基盤とする ～ 常に前に向かって努力する ～

2024年9月9日 筆者が理事長を務める恵泉女学園(東京都世田谷区)【2021年7月1日、新渡戸稲造(1862-1933)から学んだ河井道(1877-1953)が、初代学園長である学校法人恵泉女学園の9代目理事長を拝命】に届いていた【踏み出そう新たなすステージへ みんなの力が新渡戸の未来 『新渡戸記念中野総合病院だより』】9月号を拝読した。【自らの強みを基盤とする ～ 常に前に向かって努力する ～】の心得でもあろう！

【理念：新渡戸稲造博士の精神(誠意と思いやりの心)を基にした医療を誠実に実践し、疾病を抱えた人を真心で支援する。】と謳われている。まさに【*Union is Power*(協調・協力こそが力なり)であり 優雅な感情を養うは、他人の苦痛に対する思いやりを生む。しかし他人の感情を尊敬することから生ずる謙遜・慇懃の心は礼の根本をなす】(新渡戸稲造)が鮮明に蘇って来た。

山根道雄病院長の『新渡戸の言葉』には感動した。早速、【新渡戸稲造記念センター 樋野興夫センター長 御侍史何時の応援を頂き有難うございます。病院長になっても、私の力の許す限り『新渡戸の言葉』を続けて参ります。】との『賢明な寛容と 胆力のある 心温まる』ご返事を頂いた。

『新渡戸記念中野総合病院だより』には、【『新渡戸稲造記念センター』の樋野興夫センター長が全国に展開している『がん哲学外来』が当院でも開設されています。『がん哲学外来』は『がん』にまつわる様々な悩みを 樋野興夫センター長との対話を通して解消する外来です】と紹介されている。

人間は、自分では『希望のない状況』であると思ったとしても、『人生の方からは期待されている存在』であると実感する 深い学びの時が与えられている。『表面的 happy』vs『内から湧き出る joy』の違いの考察の時ではなかろうか！ 女子教育に 大いなる理解を示した新渡戸稲造(東京女子大学初代学長)が、河井道(恵泉女学園創立者)、津田梅子(1864—1929; 女子英學塾創立者)、安井てつ(1870-1945; 東京女子大学 第2代学長)を援護した三人に共通するのは、まさに、『種を蒔く人になりなさい』の実践であろう！